

FRIS/DIARE 共催

令和2年度 後期第1回

全領域合同研究交流会

10月8日(木) 13:00～

[学内限定] Web開催 Google Meetで行います。

※教育院生・学際研関係者以外の方で参加を希望する方は、
左記のQRコードより申込をお願い致します。



ポスター発表

口頭発表

1, 海の可視性が被災地住民のメンタルヘルスに与える影響

Sea view visibility and mental health in disaster-affected areas

・田代 藍 博士教育院生 (環境科学研究科 / 人間・社会領域)

2, 小さな分子集合体における振動ダイナミクスの研究

Vibrational dynamics in small molecular clusters

・伊藤 悠吏 博士教育院生 (理学研究科 / 先端基礎科学領域)

3, 宇宙機システムのデータ駆動型熱解析

Data driven thermal analysis for spacecraft systems

・田中 真人 博士教育院生 (工学研究科 / 情報・システム領域)

4, Mg 基形状記憶合金の開発

Development of Mg-based shape memory alloy

・山岸 奎佑 博士教育院生 (工学研究科 / 物質材料・エネルギー領域)

5, ク라운エーテルを用いた導電性 TCNQ 錯体への動的イオン場の導入

Introducing dynamic ionic environment into conductive TCNQ complexes by crown ether

・三部 宏平 修士教育院生 (工学研究科 / 物質材料・エネルギー領域)

6, ゼブラフィッシュの内骨格再生から見る脊椎動物の再生能力

Regenerative capacity of the vertebrate seen from zebrafish endochondral skeleton regeneration

・吉田 溪悟 修士教育院生 (生命科学研究科 / 生命・環境領域)

7, 深層畳み込みニューラルネットワークを用いた Dual Energy X 線透視像予測の試み

Deep neural network-based prediction of dual-energy subtraction images from

single-energy X-ray fluoroscopy: a feasibility study

・王 驕洋 修士教育院生 (医工学研究科 / 生命・環境領域)

8, 体に備わる多能性幹細胞 Muse 細胞の全能性リプログラミング

Totipotent-reprogramming of Muse cells: Endogenous pluripotent stem cells

・大川 香奈 修士教育院生 (医学系研究科 / 生命・環境領域)

9, DNA が作る水滴 ～物理と工学と時々生物学～

Liquid droplets formed from DNA ~physics, engineering, and a bit of biology~

・佐藤 佑介 (学際科学フロンティア研究所 / デバイス・テクノロジー領域)

10, 革新型蓄電デバイス開発への挑戦: マグネシウム電池から光充電式電池まで

Challenges to developing novel energy storage devices: from Mg batteries to photo-charging batteries

・下川 航平 (学際科学フロンティア研究所 / 物質材料・エネルギー領域)

1, 進化分子工学による分子認識タンパク質の創出に向けた次世代シーケンシング解析と機械学習の絞り込み手法の開発

Application of next-generation sequencing analysis and machine learning for creating antibody mimic

・伊藤 智之 博士教育院生 (工学研究科 / 生命・環境領域)

2, 安心安全な社会の実現に向けたハードウェアセキュリティ技術の紹介

Introduction to Hardware Security for Safe and Reliable Society

・伊東 燦 博士教育院生 (工学研究科 / デバイス・テクノロジー領域)

3, 化学工学の世界

World of Chemical Engineering

・笹山 知嶺 博士教育院生 (工学研究科 / 生命・環境領域)

多様化・精密化する現代で私たちが直面する多くの問題には、様々な要因が複雑に絡み合っています。学問体系の枠組みにこだわらず、異なる研究分野同士が手をとり合って新たな学問領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の若手研究者と学際高等研究教育院の研究教育院生は、先陣を切って分野横断的な融合領域研究を推進することが求められます。融合領域の創成には、複眼的・多角的な視点が不可欠です。この視点を養うために「全領域合同研究交流会」では、若手研究者と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境界を越えた議論を行っています。参加者が各々の研究を見つめ直し、深め、広げる機会でもあります。

本交流会は、学際高等研究教育院の研究教育院生が中心となって運営しています。

学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方はもちろん、

東北大学のすべての研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。是非お気軽にご参加ください。

学際高等研究教育院生一同

【次回予告】

令和2年度 後期第2回 11月10日(火) 13:00～

詳細は決まり次第ホームページでお知らせします。

http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/

お問合せ：学際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室

E-mail:senryaku@iiaare.tohoku.ac.jp

